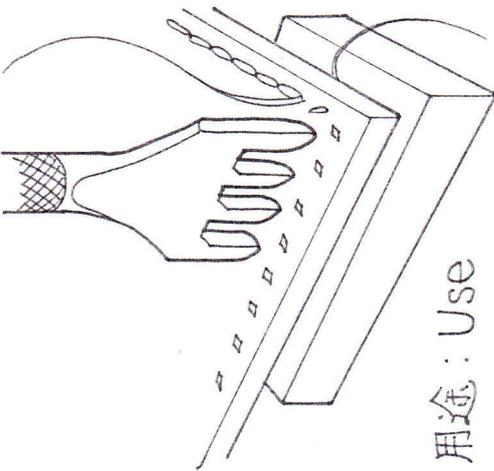


# 菱田打

(2.5・3・4・5・6mm)  
全24種類

Diamond Hole  
Punches

レザークラフトの必需品



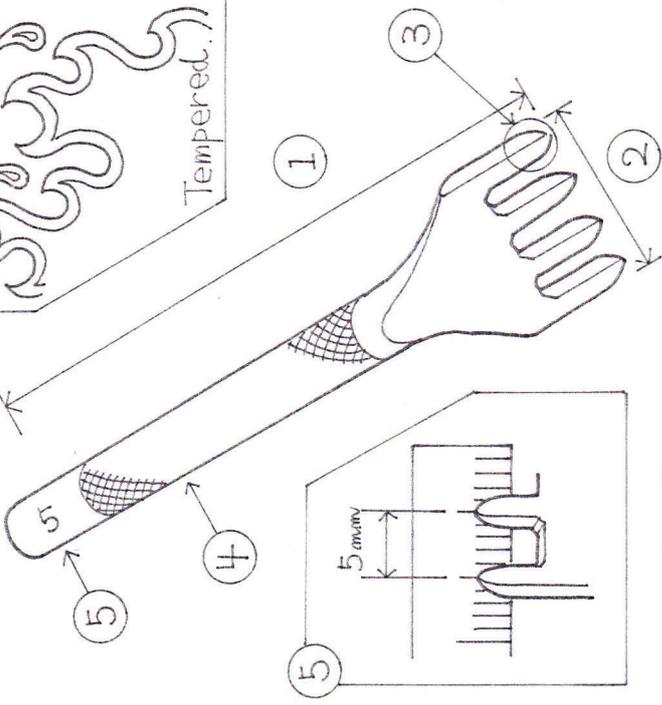
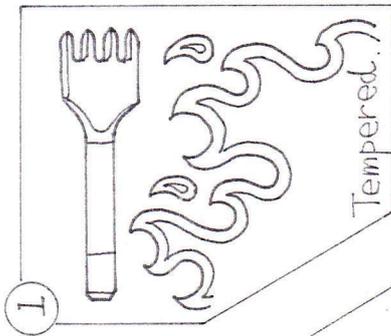
用途: Use

革に手縫い用の穴をあける為の打具。

Punching tool for hand-sewing

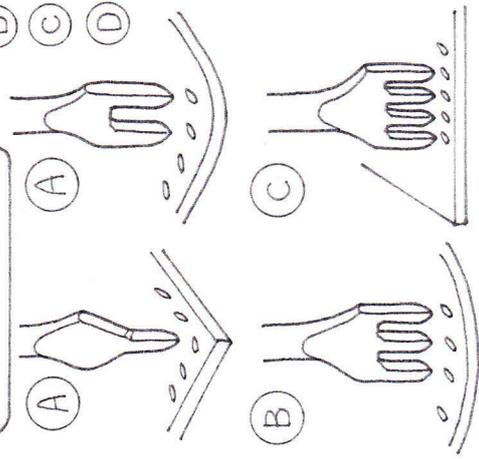
made in JAPAN

特徴  
Characteristics



仕様・サイズ  
Size

- (A) 細かいRに  
コーナーの微調整に
- (B) 大きいRに
- (C) 直線部分に
- (D) 長い直線部分に



- ① 全体に焼き入れ加工を施していることで、曲がりや変形がありません。又、黒コーティング処理でサビ防止としていきます。
- ② 刃、刃、手作業で刃付けし、丹念に磨いているので、抜群の切れ味です。又、革から抜きやすいので、素材のダメージがありません。刃部を樹脂で保護して出荷しています。
- ③ 刃の角度も可能な限り急角度にしているのど、開けた穴がシャープな菱形になり、手縫い独特のきれいな縫い目になります。
- ④ 持ち手部分にアヤ加工を施してすべり止めをしています。
- ⑤ ピッチ (mm) 表示と MADE IN JAPAN を打刻しています。

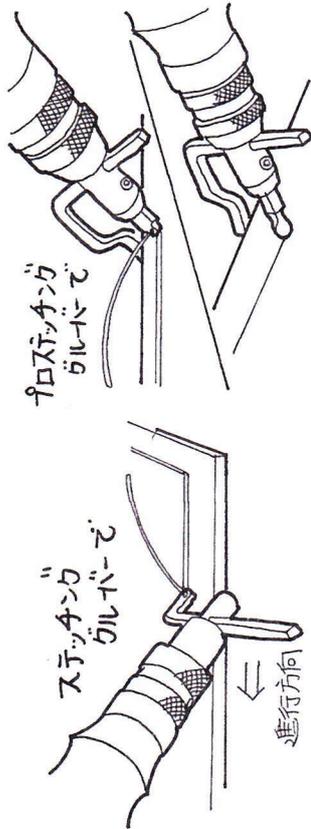
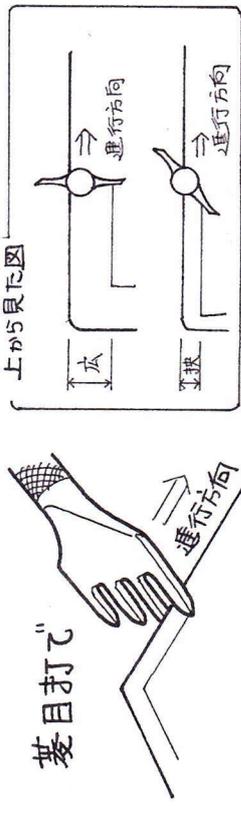
ピッチ (mm) Space between Prongs ⇓	1本目 1 prong	2本目 2 prongs	3本目 3 prongs	4本目 4 prongs	6本目 6 prongs	刃刃 刃刃 (約30mm)
2.5 mm	<input type="radio"/>	12 prongs <input type="radio"/>				
3 mm	<input type="radio"/>	10 prongs <input type="radio"/>				
4 mm	<input type="radio"/>	8 prongs <input type="radio"/>				
5 mm	<input type="radio"/>	7 prongs <input type="radio"/>				
6 mm	<input type="radio"/>					

Produced by (株)岡製作所.

# 手縫いの方法

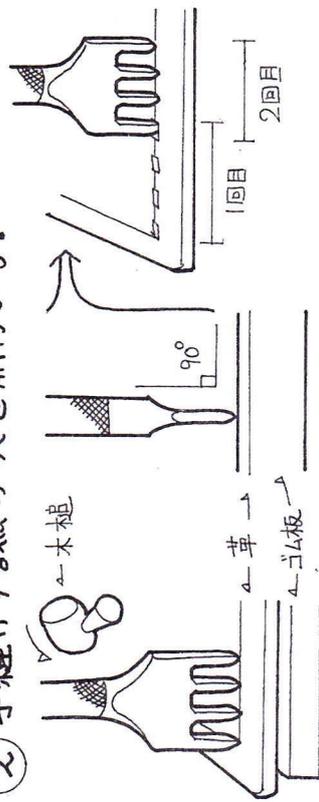
Hand Sewing Leather

## ① 手縫いをするガイドラインを引きます。



菱目打の刃中(ピッチ)を利用してガイドラインを引いたり、ステッチングガールバーやフロスタッチングガールバーで溝を彫ったり(革に糸を流れて摩擦で糸を切れにくくする。)して手縫いの用のかいドラインを引きます。

## ② 手縫いする際の穴を開けます。



1回目の穴を木槌でたたいて開けます。2回目以降は1回目の最後の穴をガイドにだぶらせて開けると穴が等一間隔にきれいに開きます。

## ③ 金針に糸を通します。

1.		針に糸を通いて2cm位で止めます。
2.		長い方の糸を針に突き差します。
3.		突き差した糸を針先から15mmまで移動します。
4.		糸を針に再び突き差します。
5.		突き差した糸をまとめて針穴手前まで移動します。
6.		針穴に通した糸を軽く引っぱります。
7.		長い方の糸を強く引っぱり、針から針先まで引っぱります。
8.		同じ手順を反対の糸にも針を取り付け完成です。

## ④ 革を縫います。

1.		解説しやすい様、革を2枚重ね、A・Bとします。
2.		穴に針を差し、穴から針先までの糸を同じ長さに入ります。
3.		Aの穴から針を差して、糸を引っぱります。
4.		③で差した針を下にたらし、今度はB側の穴から針を入れ引っぱります。 (※きれいな縫目の仕上りには、常にこの状態を保持した縫い方が必要です。)
5.		糸を両手で引っぱり、縫目を締めて1針目終了です。
6.		縫い終わりは、2針分戻って糸を切ります。 切った糸をライターで溶かして圧着します。 (カボン糸使用時)